

美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書

(2022年版)

実施年月日	2022.6.26(日)	団体名/所属先	山のトイレを考える会
参加人数	3人(他に冬囲い外し6名)	報告者	杉下 圭史(運営委員)

NO	点検項目	結果と措置内容
1	携帯トイレブース本体 (破損は無い、固定ロープの緩み等)	固定ケーブルは4本中3本のジョイント部が外れて機能しておらず、残り1本もアンカーが容易に抜ける状態。必要性に疑問。
2	携帯トイレブース内 (汚れていないか、便座の汚損はないか等)	冬囲いをしていたので、汚れも損傷もなし。
	ブース利用カウンター値	カウンター数値：新型に付け替え、その後2名使用につき「2」。
3	小屋周辺のティッシュや汚物の散乱状況(ティッシュや汚物の回収数の確認、その他のゴミ散乱状況確認、回収)	ティッシュ回収数：8 汚物の回収数：0
4	小屋内外 (損傷した箇所はないか等)	異常なし
5	小屋内 (清掃はされているか、放置したゴミはないか、小さなゴミは回収したか等)	整理整頓されていた
6	回収ボックス(白金観光センター隣のトイレ横)*鍵番号は530(ゴミゼロ)	施錠はされていたか：されていた(カラビナ方式に変更) ゴミはなかったか：無かった カウンター数値：4(新型に付け替え)

感想・特記事項

・冬囲い外しのお手伝いの機会を利用して、パトロールを実施。昨秋の冬囲いは全体をシートで囲い、ロープで固定した。ロープは残っていたものの、シートの上半分は大きく破損し、ブースが露出した状態。結果としてブース表面の塗装は剥げていた。シート内に風が入り込み、煽られることで破損したものと考えられる。秋に向けて新たにラチェットベルトで締め上げる方式の試験も行ったが、シートの破損防止等、冬囲い方法が課題。

参加者名(※はリーダー)

※仲俣 善雄、杉下 圭史、磯部 吉克
以下は冬囲い外しメンバー：美瑛山岳会 内藤 美佐雄、本村 眞紀子
環境省 広野 行男、畠山 直樹、福濱 有喜子、渡邊 あゆみ

- 実施後、速やかに写真を添付し、メール(hokkaido@yamatoilet.jp)にて報告のこと
なお、参加者全員の集合写真を必須とし、他に活動中の写真等を数枚、1枚当たり300KB以下のサイズに縮小して添付いただけると幸いです。